

高齢者・障害者・要介護者数 神戸市、実態把握していないと答弁

4月11日の神戸市都市防災委員会には、借上げ住宅に関する10件の陳情が提出され、岩田、段野、田所、車谷の4氏が意見陳述しました。

私たちの陳情を元に質疑応答した議員は、森本（日本共産党）と、浦上（住民投票）の2氏で、両議員は、神戸市の提案した「借上げ住宅入居基準」の問題点を厳しく追及しました。この委

員会では、高齢者の線引きや障害者、要介護者への対応やコミュニティが問題になりましたが、部長答弁で、神戸市として借上げ住宅に住んでいる高齢者数や要介護者、障害者の実態がチャンネルタウン以外把握できていないことが判明、「これでは委員会として議論できないではないか」と紛糾しました。

《陳情結果》

「継続入居を求める陳情」＝共産党と住民投票が採択主張、民主・自民・公明・新政会は打ち切り、みんなの党は不採択を主張。採決の結果「打ち切り」に

「継続入居原則」こそ解決のみち まやかし、神戸市の「完全予約制」

神戸市が提案してきた「完全予約制」とはなんでしょうか？ これまで神戸市は、借上げ住宅の住民に、市営住宅の空き家を提示して、転居を求めています。しかし、これからは、「完全予約制」にするのだといいます。「完全予約」という名前がついているため、住民はあたかも自分の希望通りのところに転居できるかのような錯覚をおこします。しかし転居者が、自分の希望するところへ思い通りのところに転居できると思ったら大間違いです。

チャンネルタウンウェスト住宅の転居結果を見ますと、転居希望を出した179世帯のうち、転

居したのは30世帯。このうち、希望通り同じ兵庫区に転居できたのは約17世帯（10%）でした。ほかは希望区以外への転居です。

「完全予約制」は、居住者に転居したい団地（部屋指定ではない）を複数指名させ、その団地に空き室が出来れば入居させるというもので「複数の転居希望先を書かず」これが狙いです。居住者は、第三第四と希望先を書かされ、「これはあなたが希望したところですよ」「申し込んだ以上変更できませんよ」と、思いもよらないところへ転居させられることとなります。継続入居を原則とする以外解決のみちはありません。

シール

『私は転居しません』大好評！

借上げ住宅協議会が発行した「私は転居しません」のシールが喜ばれています。兵庫区のある住宅では、居住者の9割の方がシール活用して、連帯してがんばろうという意味を表しています。東灘区や長田区、中央区でも、



終のすみか宣言

私は転居しません

借上住宅協議会

懇談会が開かれた灘区やチャンネルタウンでもたくさんの方から要望がありました。まだ残っていますから、必要な方はお届けしますので、下記までご連絡ください。

078-371-5789 阪神・淡路大震災・被災者ネットワーク（平日10:00~12:00）
090-8524-1257 阪神・淡路大震災・復興会議 岩田 伸彦